

松禪寺報

石室山 松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

<http://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 平成 28 年 4 月 25 日

第 68 号



お釈迦さまの誕生を祝う「花まつり」

仏教の開祖であるお釈迦さまの誕生を祝う行事を「花まつり」といいます。他に降誕会や灌仏会ともいいます。この日は誕生を祝って花御堂を飾り、右手を上左手を下にした誕生仏を祀り、甘茶をそそぎます。誕生仏に甘茶をそそぐのは、お釈迦さまがルンビニーの園でお生まれになったその時、天から甘露の雨が降りそそいだといい、また、竜王がお釈迦さまに香水をそそぎ、身体を洗ったともいわれています。これにちなんで、誕生仏に甘茶をそそぎます。全国の仏教寺院などで行われる大切な法要の一つです。

その期日は4月8日と定められていますが、松禪寺では5月5日子どもの日に実施します。松禪寺では午前9時過ぎから午後5時頃まで、本堂前に花御堂をお祀りしていますので、どうぞご自由にお参りください。

同日、出石・但東仏教会も花まつりを行います。出石町の勝林寺様（浄土真宗）を会場に法要などを行い、その後子どもたちが出石の街中を白い象を引いて崇鏡寺様（臨済宗）まで向かいます。象を引くのは、お釈迦さまのお母さんであるマヤー（摩耶）夫人が、白い象が胎内に入る夢をみてお釈迦さまを身ごもったという言い伝えに基づいています。

仏教を開いたお釈迦さまの生誕を祝う大切な仏教行事に、ぜひお参りください。

彼岸法要と法話を開催しました

『おかげさま』 自然の恩く大自然の恵みの中でく

春、お日様の光があたたかく感じられ、あらゆる生命が育まれるこの季節、尊い命をいただいたご先祖さまへ感謝の念を捧げる彼岸会を、今年も中日である3月20日に執り行いました。

今年は、妙心寺派布教師さんを迎えての彼岸法話会(妙心寺派定期巡教)も20日開催となったため、まずは午前10時より本堂におい



▲布教師・辻良哲師の法話に聴き入る皆さん＝3月20日

て彼岸法要を執り行いました。1月の評議員総会でも評議員さんに参加要請を行ったおかげで、35人の参加をいただきました。兼務寺院である桂昌寺の役員さんも来ていただきました。

引き続き法話を、妙心寺派布教師・辻良哲師(長崎県平戸市・是心寺住職)

より、テーマ『おかげさま』自然の恩く大自然の恵みの中でくとして約90分にわたり説いていただきました。これまで「父母の恩」、「社会の恩」とテーマが続いていますが、仏教では自分を生かしてくれている様々な支えを「父母、社会(衆生)、大自然(国土)、三宝」の四つの恩と捉え、この四恩に報いて生きることを説いています。

布教師さんは、「年間1千7百万トンの食料が廃棄される今日、物が豊かになる一方で



▲参拝者全員で食事をいただく、これも行事の一つ

心は貧困になっている。『もったいない』の精神が失われようとしている今、目には見えない陰の部分を見落とすことなく感謝する、それが気づきだ。」と話され、さらに「あたり前の心には感謝の心はない。あたり前が有難いに変わった時、おかげさまの感謝の心が生まれて来る。」と説かれました。

四つの恩に報いる生き方とは何か、いろいろな課題をいただいたお話でした。恩とは原因となった心であり、それをしっかりと心にとどめ置くことも忘れてはなりません。

法要、法話と続き、次はお齋です。当番さん手作りの食事をいただくのですが、先の法要でお供えた同じ料理を、今度は私たちが「食事五観文」を一緒に唱えてからいただきます。さまざまな命をいただいたことへの感謝と、これからいただく食事にも感謝する誓いの言葉です。みんなで手を合わせて楽しく食べる、まさに命のありがたさを実感していただく彼岸のお齋です。食べることは、私たちの命を保つ大切な行いです。

夜には、兼務寺院・桂昌寺において彼岸法要(観音講)を行い、終わってからは護持会総会が開かれました。事業並びに決算報告と、任期満了に伴う総代改選についての協議がありました。

山陰東教区花園会青壮年部の 総会に出席しました

臨済宗妙心寺派山陰東教区の花園会青壮年部総会が 4 月 23 日の夕方、朝来市の幸徳殿で開催され、松禪寺からは住職と柴田巧さん、福田春彦さん両総代が出席しました。総会は事業並びに決算報告、事業計画と予算の協議が行われ、いずれも原案通り可決承認されました。限られた予算のなかでの毎年の事業で、やりくりしながらの運営に役員さん方も大変だろうと思います。主に研修と親睦を深めるための青壮年部活動ですので、活動の輪が教区全体に広がることを期待しています。



▲教区青壮年部総会＝4 月 23 日、朝来市「幸徳殿」

春は桜花に入りて禅庭に満つ

はる おうか い ぜんてい み

今年も桜が咲きました。何の手入れもせず、雪の重さに耐えかねて折れた数々の枝、車の移動に支障があると切られた枝、それでも頑張つて咲きました。ただ花の厚みが無くなってきており、少し寂しい感じがする今年の桜です。

4 月 5 日からは例年どおり、ライトアップを行いました。雨と風に晒された桜ですが、チラホラチラホラ花びらを蒔きながら、この春を演出していました。



▲ライトアップも例年どおり実施



▲今年も桜が咲きました＝4 月 5 日、寺庭撮影

熊本・大分両県の地震により被害を受けた皆さまへ

熊本、大分両県で 4 月 14 日から続発している地震により、被害を受けた皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

九州にお身内やご親戚、友人などがいらつしやる檀家さんも少なくないと思いますが、心配な毎日と拝察いたします。被災地では家屋が倒壊するなど、多数の被害が生じています。この地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

平成 28 年 4 月

松禪寺役員一同

「禅ー心をかたちにー」展

京都で5月22日まで開催中

臨済宗黄檗宗連合各派合議所では、臨

済宗・黄檗宗の宗祖である臨済禅師および日本臨済宗中興の祖である白隠禅師の遠諱記念として、特別博覧会を京都と東京で開催しま

す。臨済宗黄檗宗連合各派合議所は、臨済宗

十四派(妙心寺・大徳寺・相国寺・南禅寺・

建仁寺・東福寺・天龍寺・仏通寺・永源寺・

方広寺・国泰寺・円覚寺・建長寺・向嶽寺)

と黄檗宗の各本山、(通称、臨黄合議所)、及

び禅文化研究所が抱える諸問題を提起し、共

同の立場で審議・検討・対応する合議、及び

親睦の機関です。

この博覧会には、各本山に加え全国より6千を超える寺院から、多数の国宝、重要文化財が展示されています。ぜひ、この機会にご覧ください。



京都会場は次のとおりです。

日時 4月12日～5月22日。午前9時30分

～午後6時。金曜日は午後8時まで。入館は閉館の30分前まで。

休館日 月曜日

場所 京都国立博物館(東山七条)

観覧料 一般1千5百円、大学生1千2百円、高校生9百円

妙心寺派宗務本所花園会本部では、平成29年に迎える白隠禅師250年遠諱にあたり、「白隠禅師坐禅和讃」の写経を檀信徒皆さまにお願いしています。

この写経は遠諱を契機として更に信心を深め、白隠禅師の深い恩に報いるとともに、人類の平和、社会浄化、先亡の冥福、諸願成就等の諸祈願を目的に実施するものです。何卒よろしくお願い申し上げます。

写経期間…平成28年4月1日～平成30年3月31日まで

配布内容…「白隠禅師坐禅和讃」「般若心経」をそれぞれ1巻配布し、1軒に2巻の写経を納めてくだされば幸いです。

志納金…1巻につき1千円。「白隠

禅師坐禅和讃」「般若心経」の両方を納経していただくと、計2千円の志納をお願いいたします。

納経料1千円は、7百円を花園会本部へ、残りの3百円は松禪寺に納めてそれぞれ供養いたします。花園会本部からは「納経之証」が送付されます。

期間は十分にありますので、ゆとりをもって写経してください。どなたが写経されても構いません。また、期間中は「白隠禅師坐禅和讃」の写経用紙に限り、納経を前提として追加の配布が可能です。

※写経は松禪寺か、地元の評議員さんに届けてください。

5月29日＝境内掃除のお願い

昨年に引き続き、境内掃除のご協力をお願いいたします。その第1回目を次のとおり行います。

日時 5月29日(日)

午前8時より約2時間

作業内容 境内周辺、霊園及び駐車場周辺の

草刈り、境内の草取り等

持参 刈払機、松葉かきなど

参加対象 上山根、下山根、貝田、平田、中路、宮本、榎谷のそれぞれの評議員と協力者

1名を加えた計2名のご協力をお願いします。